

「大森寺見学と般若心経解説の会」開催

守山鯉城会東地域

開催日時 令和4年11月22日(火) 10:30~12:00 参加者 45名



参加者



住職による山門の建設説明

大森寺 境内



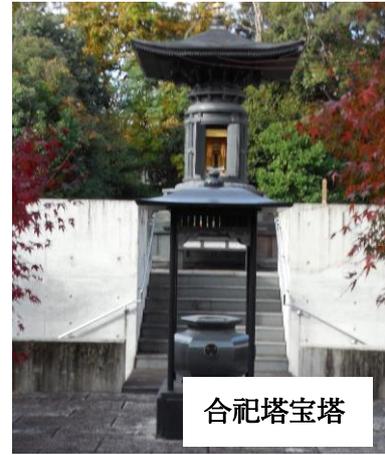
山門



本堂



鐘 櫻



合祀塔宝塔

大森寺 内部



住職のお話

① 大森寺の歴史

② 仏教の教え

③ 般若心経の解説

ア経本をみて、間違いのないように読むとされている。

イ般若心経は哲学である。

ウ自分をどう見るか、どう認識するか 等々

大森寺について(住所：名古屋市守山区弁天が丘)

興舊山(こうきゅうざん)歓喜院(かんぎいん)大森寺(だいしんじ)は尾張二代藩主徳川光友公の生母である歓喜院(かんぎいん)(お尉(じょう)の方(かた))様の菩提と徳川家御一門を弔うため寛文元年(1661年)に創建されました。

大森村を訪れた初代藩主徳川義直公に見初められ、二代藩主、光友公を産んだお尉(じょう)の方(かた)様の菩提を弔うことから、良縁・縁結び、子の無事成長・立身出世・健康長寿のご利益寺院として、また、学業・合格の祈願寺としても親しまれています。

般若心経とは

般若心経(はんにやしんぎょう)は略された呼称で、正式な名称は「般若波羅蜜多心経(はんにやはらみったしんぎょう)」です。般若心経自体が略された呼称なのですが、さらに略されて「心経(しんぎょう)」と呼ばれることもあります。般若心経は本文260文字程度から成り、お経としてはとても短いながらも、お釈迦様の教えにおける重要かつ、本質的な要素が詰まっていると言われていています。260文字程度の般若心経ですが、大きく分けて4つのパートから成り立っています。

- 第1のパート: 観音菩薩が悟ったことについて述べたところ
- 第2のパート: 観音菩薩がシャーリプトラへ「空」の思想を語り始める場面
- 第3のパート: さらに深く「空」の思想を伝える場面
- 第4のパート: 悟りを開くための「真言(マントラ)」という特別な言葉が唱えられる